



# Business Report

## 第76期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご心配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第76期中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アフターコロナを見据えた市場動向により、一部業界では緩やかな回復の兆しが見受けられたものの、先が見えない新型コロナウイルス感染症の影響に加え、デジタル化・高速5G通信の進展に伴う半導体需給の逼迫や、原油価格高騰による材料調達コストの度重なる上昇、工場の電力・ガス価格の急激な値上げ、中国における電力制限やゼロコロナ政策によるロックダウンの影響、更に世界的な半導体不足やロシアによるウクライナ侵攻などにより、世界経済及び事

業環境が混沌とし、企業業績は極めて厳しい状況が続いております。海外市場では一部諸外国で景気の回復基調が高まってきているものの、依然として、世界経済への不透明感が広がっております。今後の経営環境については、新型コロナウイルス感染症の拡大は一定程度に収まり、持ち直していくものと見込んでおりますが、長引く供給制約の影響・過度な円安による物価高、海外景気の後退懸念により、本格的な回復には相当な時間を要することが想定されます。

こうした状況下で当社グループは、引き続きグループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通

信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・蓄電池・化粧品等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアルを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。

当社グループは、事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立って将来的に成長が期待できる事業分野と市場に経営資源を重点的に集中させ、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けて当社グループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、努力を重ねてまいります。

### 経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め  
常に知識を生かしながら  
『お客様にとってなくてはならない』存在として  
付加価値の高い製品 サービスを提供し また  
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し  
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

**SOMAR's Mission Statement**  
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.

SOMAR Corporation



社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

## ◆ 事業の内容

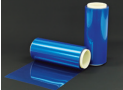


### 【商社とメーカー2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「商事機能」と「メーカー機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



### 【事業セグメント】

	<b>高機能材料事業</b>	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高：	8,562 百万円 (前年同期比 4.7%増)	中国でのロックダウンによる需要低迷や、世界的な半導体不足に伴う自動車メーカーの減産等の影響を受けたものの、取引価格の上昇やEV関連部品向けの販売拡大が下支えとなり、売上高は増加しましたが、原材料・エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇により営業利益は減少しました。
営業利益：	365 百万円 (前年同期比 24.1%減)	
	<b>環境材料事業</b>	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高：	2,362 百万円 (前年同期比 8.6%増)	石化・モノマーに連動した取引価格の上昇や、板紙・生活産業用途への販売活動の強化が新規採用実績の増加に結びついてきたことに加え、海外市場におけるビジネス展開が奏功し、売上高・営業利益は増加しました。
営業利益：	39 百万円 (前年同期比 6.9%増)	
	<b>食品材料事業</b>	主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高：	1,369 百万円 (前年同期比 69.8%増)	家庭用加工食品向けは引き続き堅調に推移するとともに、業務用加工食品向けは回復基調となる環境下において、急激な円安や輸入コストの高騰等の影響を大きく受けながらも、商材確保や安定供給を優先しつつ対応した結果、売上高・営業利益は増加しました。
営業利益：	106 百万円 (前年同期比 27.8%増)	

## ◆ 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表

(千円)

科 目	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2022年9月30日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	15,936,573	17,137,941
固定資産	5,774,958	5,709,935
有形固定資産	2,641,902	2,863,051
無形固定資産	111,273	119,565
投資その他の資産	3,021,782	2,727,319
資産合計	21,711,532	22,847,877
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	*7,782,404	4,099,076
固定負債	201,964	4,132,791
長期借入金	-	4,000,000
資産除去債務	64,127	64,209
退職給付に係る負債	8,859	9,991
その他	128,977	58,590
負債合計	7,984,369	8,231,868
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	12,149,162	12,445,835
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	2,617,978	2,914,788
自己株式	△57,979	△58,116
その他の包括利益累計額	1,578,000	2,165,407
非支配株主持分	-	4,765
純資産合計	13,727,162	14,616,008
負債純資産合計	21,711,532	22,847,877

\*前連結会計年度の流動負債には、「1年内返済予定の長期借入金 3,450,000千円」が含まれております。

## ◆ 株主の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式の総数	1,958,734株
株主数	1,443名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.4
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
秋元利規	40	2.1
ソマール従業員持株会	34	1.8
INTERACTIVE BROKERS LLC	31	1.6
チルダース トーマスハミルトン	26	1.4

(注) 持株比率は自己株式(19,240株)を控除して計算しております。

### 四半期連結損益計算書

(千円)

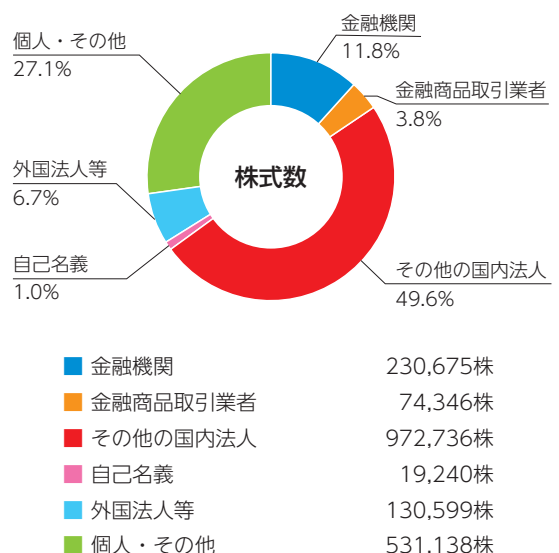
科 目	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日
売上高	11,195,457	12,337,032
売上原価	9,171,223	10,279,149
売上総利益	2,024,234	2,057,882
販売費及び一般管理費	1,581,037	1,700,319
営業利益	443,196	357,562
営業外収益	72,686	93,645
営業外費用	17,812	17,922
経常利益	498,070	433,286
特別利益	-	165,191
特別損失	8,477	105,344
税金等調整前四半期純利益	489,593	493,132
法人税等合計	58,859	99,578
四半期純利益	430,733	393,553
非支配株主に帰属する 四半期純損失(△)	-	△234
親会社株主に帰属する 四半期純利益	430,733	393,788

### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日～ 2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△483,805	△976,286
投資活動による キャッシュ・フロー	△276,847	△86,011
財務活動による キャッシュ・フロー	△99,244	456,122
現金及び現金同等物に 係る換算差額	113,727	435,794
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△746,169	△170,381
現金及び現金同等物の 期首残高	5,472,077	4,701,019
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,725,907	4,530,638

### 所有者別株式分布状況



## ◆ 会社概要 (2022年9月30日現在)

商号	ソマール株式会社
英文商号	SOMAR CORPORATION
設立	1948年2月26日
資本金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従業員	340名 (連結465名)

## ◆ 役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	曾谷 和久
取締役	鶴田 正樹
取締役	小林 成次
取締役	牛尾 撰昇
取締役	三村 昇之
取締役	坂本 孝
取締役	春日 亨
常勤監査役	山崎 晴信
監査役	亀山 玲史
監査役	中島 玲史

(注) 1.取締役坂本昇氏及び取締役春日孝之氏は、社外取締役であります。  
2.監査役亀山晴信氏及び監査役中島玲史氏は、社外監査役であります。

## ◆ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.somar.co.jp">https://www.somar.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ◆ ホームページのご案内

当社は、株主・投資家の皆様及び一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内で、事業活動、製品情報、CSR関係情報等の様々な情報を掲載しております。

当社ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.somar.co.jp>

